

NKオンリーワン通信

VOL.4

「鬼は外！福は～内！」

発行：新潟北高等学校

22020404

明日はいよいよ本年度最後となる幼稚園との交流体験実習の日となる。天気予報は???ンッ、またもや大雪の予報。電車が来なかったら12月の第1回目のように延期.....(T_T)などと考えながら床につく。



はてさて3日(水)当日。いつものように5時過ぎに起床し、恐る恐るカーテンを開けて外の様子を見ると、一面の銀世界。ここはどこ?もしかしてスキー場!などと思ながらも現実に引き戻される。本校生も幼稚園のみんなも楽しみにしているのに(>_<)パソコンを立ち上げ、列車情報の確認をし、平常ダイヤの運行と判明し、ホッと息をついたのも束の間、「あっ、弁当つくらなきゃ」と思い、そそくさと弁当を作って「いざ、出陣！」

第3回幼稚園交流体験実習「節分の巻」～H22.2.3

今回交流体験実習に参加する生徒の人数は、10名。ところが(?)当日欠席が4名もでてしまい意気消沈のまま幼稚園へ。体調を崩したことはいたしかたないことではあるが、そこに至るまでの日常の過ごし方に問題はなかったか、自分の生活を振り返るとともに、他の参加生徒のことや幼稚園で楽しみに待っているであろう園児のみなさん、先生方の「こころ」を思いやってもらいたいと思う。

近頃とみに思うことだが、他人の「こころ」を察することがいかに難しくなっていることか。



「お姉さん先生の中にいる鬼はねえ～」

欧米ナイズされ、日本人が古来から持ち合わせてきた美德が失われつつある風潮は、急速に進展する情報化社会に対する警告に他ならない。

本校が基本コンセプトとして「こころの教育」の実践を標榜している背景には、こうした現在の状況をふまえていることを忘れてはならない。



鬼たちのダンス

幼稚園児92名が自作の鬼のお面をかぶって登場。節分の由来の講義？を受け、節分の歌をみんなで一緒に歌い、鬼のおどりを行ってから「さあ、豆まきだ」

ここでまたしても園長先生の登場。

「鬼は～外。福は～内。」と遊戯室に響いたとたんに豆まき開始。

そうしたら、赤鬼が遊戯室にやってきた(@_@)

年少組の園児の中には思わず泣き出してしまう子どもが(刺激が強すぎただろうか、反省、反省)。

しかし、さすがは年中・年長組の子どもたち。赤鬼

に敢然と立ち向かい、赤鬼を撃退!!その後、みんなで豆を拾って袋に詰め、カバンの中へ。

赤鬼登場!! 「おに、こわ～い」



「みんなで赤鬼をやっつけろ」

みんなのおなかの中にいる悪い鬼もいっしょに退治しちゃおうね

かくして3回に及んだ今年度の幼稚園との交流体験実習が無事終了した。しかし、「こころの教育」の実践を目指す本校にとってはほんの一部分の取組でしかないことを認識しつつ、来年度に向けた新たな取組を構築する必要があると考える。

終わりに、本校の取組に理解を示し、本校生に快く場を提供してくださった県立幼稚園の先生方や保護者の皆様、そして園児たち。そうした皆さんの「こころ」にも響く取組にすべく来年度の計画をしていきたい。



「みてみて、こんなにたくさん拾っちゃった」

